

# 『評価からはじめるまちづくり！2011』（第1班）

施策名	共に歩む障がい者福祉の実現		
対象	市民	成果指標	① 障害福祉サービス受給者数／障害者手帳所持者数(身体・療育・精神) ② 施設、病院から地域への移行 ③ 施設から一般就労への移行
意図	地域で安心して生活することができる		
参加者	高橋 沙織, 菅原 悦造(10日のみ), 千葉 悦郎, 砂川 菜摘, 須藤 勇二, 高橋 潤(17日のみ)		

## グループワーク I

理由など		市民の評価				
<p><b>実施(取組み)への評価</b></p> <p>もりおか福祉ブランドによる授産施設の商品PR取組 ④</p> <p>障がい者の方々のスポーツ大会があるのはいいと思う ④</p>	<p>相互理解が不足 ②</p> <p>障がい者の全体像が判らない ①</p> <p>障がい者に対する理解向上の取組が日常生活であまり見られない ②</p> <p>養護学校はなくし、普通学校に通す。学校教育の中で当たり前環境にして互助精神を育てる。 ①</p> <p>もりおか福祉ブランドの認知度(就労支援) ②</p> <p><b>相互理解</b></p> <p>継続支援を行っている割に実績が低い ②</p> <p>施設から移行。その後の一般就労固定率はどうか ②</p>	<p><b>現状</b></p> <p>事業の分別が必要(・生まれつきの障害・生涯の中で障害になったもの) ①</p> <p>障がい者福祉の評価で、市民満足度で聞く項目か？せめて当事者の家族に聞くべきではないか ①</p> <p>H22事業の中で累計ではなく単計でやる。正しい評価ができない ①</p> <p><b>障がい者の社会参加</b></p> <p>障がい者自ら立案・企画し運営を支援するシステムが欲しい</p> <p>相談支援事業の相談員からまとめ、吸い上げ対策が欲しい ①</p>	<p><b>ハード面の不足</b></p> <p>Gで活動したいが、委託団体以外参入の仕方がわからない</p> <p>車イス、白杖者が安全に移動できない(あまり見かけない) ②</p> <p>バスが定位置に停車しない事があり、視覚者が困っているのを見かける</p> <p>階段やエスカレーターばかりで、車椅子の人が行動しづらいと感じた(大通りなどで) ①</p> <p>自立できる施設が足りない ①</p>	2	市の評価	2.5

成果指標	
<p>健常者と障がい者のお互いの理解度を計る→ギャップのひらき</p> <p><b>理解度</b></p> <p>もりおか福祉ブランドなど障がい者が携わった商品を取り扱っている店の数や売り上げ</p> <p>PR活動等を受けて、行動を起こした人の人数</p> <p>住民が福祉施策をどのように考えているのかアンケートの実施</p> <p><b>PR</b></p> <p>別紙①</p> <p><b>今回の震災から</b></p> <p>障がい者の緊急時・災害時の対応、研修回数</p>	<p><b>これから</b></p> <p>高齢障がい者の課題、変化を捉える</p> <p><b>障がい者と健常者の交流</b></p> <p>養護学校と普通学校の交流件数</p> <p>健常者と障がい者の交流頻度を調査</p> <p>障がい者と健常者が交流する機会が1年間でどのくらい実施されているか</p> <p>啓蒙活動の件数(行政、NPO等の機関誌)</p> <p><b>現状把握</b></p> <p>福祉ブランド設立前後の販売件数、売上げの推移</p> <p>障害者手帳や療育手帳を持っている人がどのくらい働いているか(施設出ではな)</p> <p>別紙②</p> <p><b>当事者に聞くハード面の不足</b></p> <p>障がい者本人やその家族からニーズを聞く→ハード面での不足がいくつかあるか</p> <p>別紙⑤</p>
<p><b>当事者やその家族に聞く社会との関わり</b></p> <p>障がい者と地域住民のコミュニティ(町内会)参加率を計る</p> <p>障がい者の社会参加(・公共施設の利用・社会行事への参加・グループ活動)</p> <p>家に引きこもっている障がい者の数</p> <p>別紙③</p> <p><b>関連</b></p> <p>障がい者の以下3つの満足度の割合を計る</p> <p>①居…住宅の設備 ②職…雇用・賃金・職種 ③住…地域との関わり</p> <p><b>ボランティア</b></p> <p>障がい者施設で長期にボランティアを行う</p> <p>住民参加型行事の参加、ボランティア参加数</p> <p>別紙④</p>	<p><b>成果指標</b></p> <p>2</p> <p>市の評価</p> <p>2.5</p>

# 『評価からはじめるまちづくり！2011』（第1班）

## 【別紙】

### ①「PR」に関するその他の意見

- ・広報の活発化
- ・充実度を計るなら、当事者たちの意見を健常者と交えたワークショップ等を持ち、その希望の実現を図る

### ②「現状把握」に関するその他の意見

- ・年齢別・障がい者の度合い、知的者などの振分け、細分化が必要
- ・障害者手帳が増える目標は必要なのか。自立の度合いを計る指標が良い。

### ③「当事者やその家族に聞く社会との関わり」に関するその他の意見

- ・障がい者を支える家庭への配慮（経費・地域）
- ・自立支援をバックアップするNPO法人、団体の設立を手伝う指標が良い

### ④「ボランティア」に関するその他の意見

- ・ボランティアの意識調査

### ⑤「当事者に聞くハード面の不足」に関するその他の意見

- ・障がい者の要望等アンケート（参加が障害となっている具定例）
- ・障がい者に優しい街並み（点字ブロック、障害物、トイレ、エレベーターほか）検証
- ・市が障がい者の為の社会づくりをテーマに持ち、市議会と議論、視察、当事者と意見交換等1ヶ月ほど時間をかけハード面の見直しをする。